

みどり通信

第41号
2025年1月1日

2025

新春

令和7 睦月



どこにでも

誰にでも

お日さま

笑いかける

いつもいつも

おんねん
おんねん

「ノーベル平和賞」

秋野文子

ノルウェーの首都オスロで 10 日に開かれる受賞式の記事が神奈川新聞に載っていた。

戦争体験の記事を募集していた。

私は赤ん坊だったが、あの緊迫した恐ろしい雰囲気は知っている。終戦後に大人から聞いた話も覚えている。

賛美歌の CD がある。みんなで聴いた。

聖夜、諸人こぞりて、いつくしみ深き、は少し歌った。

24 日ささやかなクリスマス会にも聴くことになった。

「新年に思う事」

秋野文子

昨年は能登半島地震に始まった。

私自身、6月、施設でのユニット全員のコロナ感染で亡くなっ人も出た状況だった。病気そのものより職員の防護服着用、エアコンの故障、雨続きなど思い返してもゾッとする。

久しぶりな各地の祭り、紅葉の様子も見られた。観光や各地の特産品の報道もあり知る事も多くあった。

施設でも畑の芋掘り、ハロウィーンで焼そば、焼き芋、輪投げゲームをし一寸した祭り気分だった。

ところがクリスマス辺りからインフルエンザが拡大した。

コロナも他の階で出始めた。

雨は無く異常乾燥。寒い。

日本海側は大雪。

「新年に思う事」

秋野文子

<久保さん、元気！>

小松会病院に入院していた久保さん、高久さんが見舞いに行った時も退院の話は全くなかったそう。

12月の第1金曜日みどり会の忘年会の日、思い切って電話してみた。

なんと「忘年会で歌ったきた」と言うのだ。そして参加者の名前を細かに伝えてくれた。

驚いた！

今年は昭和100年の年、私たち世代が、もう一踏ん張りして若い世代に、お願いして行かなければならない。

私も外出禁止、面会謝絶の特養にあるけれど、この電子化の時代、コミュニケーションの方法はある。

最近、日刊紙を取り始めた。大きな見出ししか見られないが時間はある。

ラジオでは、エフエムさがみ、を聞いている。地域の情報は楽しみ。

じんかれんのひろばに投稿させてもらい、すっかり神奈川県全体に漸く関心が持てるようになった。

ガラケーとタブレットを利き手でない左手で駆使して使っている。

諦めたくない！





福寿草

編集後記

ありがたや
心ゆたかに
からだ老う

今年は昭和 100 年、戦後 80 年、家族会メンバーも 80 才前後が多くなっている。それなりの関わりをするしかない。

オンラインで「早春賦」なんか歌ったりできないものだろうか?!



midori2shin@gmail.com